

交差点 99号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和4年3月

とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい

(内閣総理大臣賞)

あぶないよ 青でもきちんと みぎひだり

(文部科学大臣賞)

「令和4年使用交通安全年間スローガン」(全日本交通安全協会・毎日新聞社)【こども部門】より



春

の交通安全について保護者の皆様へ

まもなく春が訪れようとしています。

子どもたちはそれぞれ新入園、新入学や進級をひかえ、ドキドキしながら新しい季節を心待ちにしているのではないのでしょうか。

これからは、雪融けに伴ってスピードを出すドライバーが増えたり、自転車を利用する人が多くなったりすることが考えられます。子どもたちには事故に遭わないよう十分に注意して過ごしてもらいたいです。

令和3年の一年間、市内で起きた交通事故によりケガをした中学生以下の子どもは213人で、前年より49人増加する結果となりました。また、札幌市全体で見ても、事故件数・傷者数とともに前年より増加するなど、交通安全のため一人ひとりが真剣に取り組んでいく状況にあると言えます。

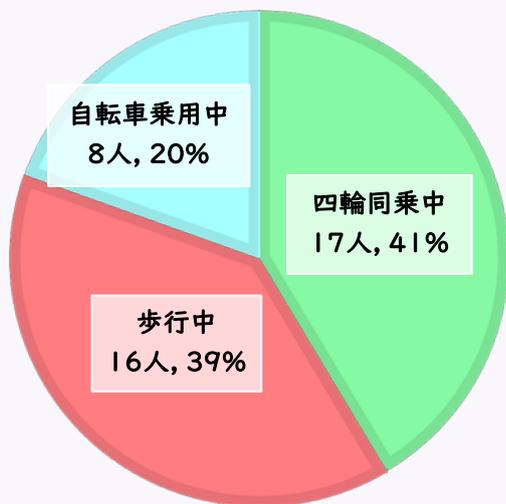
春休みの期間中に、ぜひご家庭で交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故実態（令和3年1月～令和3年12月）

一年間の交通事故死傷者数※ : 213人（前年比+49人）
3月～5月の傷者数 : 41人（前年比+8人）

※令和3年は死者なし

中学生以下の子どもの状態別傷者数
(R3.3～R3.5)



左のグラフのとおり、昨年3月から5月の春の時期に交通事故でケガをした子ども41人を状態別に見てみると、四輪同乗中と歩行中がどちらも約4割となっていました。

同乗中の事故では、シートベルトやチャイルドシートの着用がたいへん重要となります。大人も含め、車に乗る全員が着用を徹底するようにしましょう。

夏に向けては自転車利用の機会が増えると予想されますので、自転車の安全な乗り方についてもしっかりと指導するようにしましょう。

3月～4月は残雪により
道の状態が悪いことも！
転倒事故等にも注意しましょう！



春の交通安全指導のポイント

【道路や道路のすぐそばで遊ばせないようにしましょう】

急に道路へ子どもが飛び出したり、車が突っ込んできたりする危険があります。停まっている車のおかげでも遊ばせないよう注意しましょう。

【信号や横断歩道を正しく利用させましょう】

信号の正しい見方や、安全な横断の仕方について指導しましょう。信号が青であっても、道路を渡る前には前後左右の安全確認を忘れずに！

【自転車を安全に利用させましょう】

ヘルメットを着用させ、ルールを守って安全に自転車を利用させましょう。万が一事故を起こしてしまった場合に備え、**自転車損害賠償保険**にも加入するようにしましょう。（ご家族が加入している自動車保険等に自転車の事故時の補償が付帯されている場合もありますので、いま一度確認してみましよう。）また、自転車運転中の「ながらスマホ」やゲーム機などの使用も、絶対にさせないように指導しましょう。



☆ぜひご活用ください☆



札幌市交通安全運動推進委員会では、毎年春に市内の学校へ交通安全啓発品を送付させていただいております。

不足や破損等がありましたら、お子さまの学校または当委員会までご連絡ください。(011-211-2268)

※写真は令和3年度配布版のため、令和4年度版はデザイン等が変更になる可能性があります。

※ランドセルカバー、黄色いワッペン（保険付）、冊子「まもろうね!!一年生」は新入学児童分を小学校へ、冊子「セーフティ自転車ライダーのススメ!」は全生徒分を中学校・高校へ配布します。

～こうつうあんぜん4つのやくそく～

